**ルツェルン祝祭管弦楽団**

**LUCERNE FESTIVAL ORCHESTRA（LFO）**

ルツェルン・フェスティバルのレジデント・オーケストラであるLFOは、2003年夏、イタリア人指揮者クラウディオ・アバドとルツェルン・フェスティバルの芸術総監督ミヒャエル・ヘフリガーにより創設された。LFOの前身は、ルツェルン・フェスティバル初開催年（1938年）のガラ・コンサートで初公演を行ったスイス祝祭管弦楽団である。これは、巨匠アルトゥーロ・トスカニーニが当時のトップ・ヴィルトゥオーゾたちを集めて組織した伝説的なオーケストラである。アバドは2014年1月に逝去するまで、LFOの音楽監督を務めた。アバドの後を継いだ新音楽監督リッカルド・シャイーは、2016年夏にLFOとともにマーラーの交響曲第8番を演奏。これは、アバドが病に倒れて完結させることが出来なかったLFOのマーラー・ツィクルスの「最終章」となった。LFOは、世界一流のオーケストラで首席奏者を任されている演奏家たち、卓越した室内楽奏者たち、すぐれた音楽教師たち、そしてマーラー・チェンバー・オーケストラとミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団のメンバーたちによって構成されている。2017年の「ルツェルン・フェスティバル 夏の音楽祭」のためにシャイーが準備している3種のプログラムは、リヒャルト・シュトラウス、フェリックス・メンデルスゾーン、ピョートル・チャイコフスキー、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン、イーゴル・ストラヴィンスキーの作品を取り上げるものだが、いずれも、これまでLFOが全く、あるいは滅多に演奏してこなかった作曲家である。過去10年のLFO の演奏の多くは、テレビで放送され、またDVD化されており、彼らのCDやDVDは、ディアパゾン・ドール、BBCミュージック・マガジン・アワード、インターナショナル・クラシカル・ミュージック・アワードを始め、国際的なレコード賞に輝いている。LFOはこれまで、ローマ、ウィーン、マドリード、パリ、バーデン=バーデン、ハンブルク、ロンドン、ニューヨーク、フェラーラ、モスクワ、東京、北京で演奏を披露している。2015年秋には、アンドリス・ネルソンスの指揮でヨーロッパの主要都市をまわった。